

# 第4編 經 濟

產 業 推 進

農 業 ・ 畜 産 業

水 産

商 業 観 光

工 業

勞 働 行 政

公 營 事 業



# 第1章 産業推進

産業振興課

かつて平塚市には飛行機をつくる工場や繊維工場などがあり、それが現在にも生かされて、さまざまな産業分野の工場がある。農業については、県下第一位の生産量を誇る水田地帯と丘陵部の豊かな畑地を有している。また、戦後一大発展をとげた商業は、卸売業を主体に年間商品販売額では湘南地域有数となっている。さらに、漁業については、定置網・船引き網・刺網のほか、近年では恵まれた立地条件から遊漁船業等の観光漁業が盛んである。

このように平塚市は豊かな風土とともに活発な経済活動が生まれ出る産業資源に恵まれている。今後の平塚市の商業・工業・農業・漁業を網羅した産業活性化の推進に当たっては、急激な社会・経済環境の変化に対応するため、平塚市のポテンシャルを十分に活用した産業間連携の確立が求められている。

## 1 平塚産品普及促進事業

### (1) 湘南ひらつか名産品選定事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、これまで行ってきたイベント等への参加を中心とする対面販売の機会が大きく減少したことから、「新しい生活様式」に対応した平塚産品の普及促進を図るため、ホームページをリニューアルし、ECサイト（ウェブサイトで販売するサイト）などを活用した非対面販売の強化を行った。また、ブランド価値向上を目指したシンボルマークを作成した。

ア 湘南ひらつか名産品—37品目（認定期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日）

#### ○食品加工品

弦斎カレーパン	たたみいわし
さつま揚げ詰合せ	味付落花生（上赤・上白）
湘南ひらつかカオリ麺	やまと豚 ロースハム
たたみいわし燻製（醤油・塩味・胡椒風味）	湘南ひらつか七夕ふりかけ
湘南ベルマーレカレー	肉の石川 とん漬（神奈川県産 相模豚）
「湘南トマト工房」トマトジュース	湘南タコス
やまゆりポーク つるし焼豚	湘南こっこからあげ
ひらつか七夕ラーメンセット	

#### ○和菓子

湘南名菓ほっくり	都まんじゅう
ひらつか囲碁最中	つりがね最中
なでしこ	囲碁の町ひらつか
湘南ボーイ	平塚の里
ほしにねがいを	大番

#### ○洋菓子

湘南みかんぱん	ばらジャム
湘南ポテト	じゃこ瓦
West Coast湘南 はちみつラスク	平塚味噌アイス
ひらつかリンツァー	湘南しらすチーズクッキー

○酒類

本格芋焼酎 くりまさり
-------------

○工芸品

相州だるま (2店)	竹宝印 かぐや
------------	---------

イ 湘南ひらつか特産品—8品目 (認定期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日)

○特産品

平塚のバラ	平塚トマト
平塚きゅうり	平塚いちご
平塚小松菜	平塚の金アジ
湘南しらす	平塚のシイラ

(2) ふれあいマーケットの開催

生産者と市民がふれあいながら楽しんで買い物ができる憩いの場所として、また、地場産業の紹介と活性化を図ることを目的として「湘南ひらつかふれあいマーケット」を開催した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催中止となった。

- ・ 開催日 毎月1回・日曜日 午前7時から8時まで
- ・ 場 所 平果地方卸売市場
- ・ 店舗数 10店舗
- ・ 出店内容 平塚産の農産物及び加工食品、花、魚介類加工品、湘南ひらつか名産品、食料品等
- ・ 来場者数 年間約5,000人

2 金融総合案内事業

国・県・市の中小企業に対する支援情報を集めるとともに、これらすべての金融支援が紹介できる総合案内窓口を開設することにより、利用者にもふさわしい金融支援を行った。

相談内容	説明	件数
融資相談	国の融資、県の融資等全般の相談	10
セーフティネット等認定受付	特別な融資保証枠の認定	2,379
経営サポート資金受付	資金に関する相談、受付	0
新創業支援資金相談	資金に関する相談、受付	41
経営革新事業支援	経営の向上等に必要な資金の相談や専門知識の提供	0
合 計		2,430

3 産業振興計画推進事業

平成30年に策定した「産業振興計画2024」に基づき、商業・工業・農業・漁業・観光各々の活性化事業とともに産業間連携を視野に入れた産業振興施策を進めた。

#### 4 起業家支援事業

起業家育成のためのセミナーを平塚商工会議所と共催し、起業に関する情報提供や事業計画の作成支援を行った。また、市内大学と連携して「中小・ベンチャー企業魅力発信トークライブ」を実施し、創業風土の醸成に寄与するとともに、「Hiratsuka フレッシュビジネス認定コンペティション」で認定した事業計画に対し「起業家経営見守り事業」を実施し、創業後の経営支援を図った。さらに、事業計画の策定段階にある者や創業間もない者に対して専門家を派遣することで、事業の円滑な立ち上げ及び創業後の経営の安定化を支援した。

#### 5 中小企業経営支援事業

事業者へ専門家の派遣や、平塚商工会議所、神奈川県信用保証協会及び平塚信用金庫と「中小企業の経営支援における連携に関する協定」に基づき、各種相談対応や事業承継セミナー等を開催することで、中小企業のライフステージに応じた様々な経営課題の解決を支援した。

さらに、市民の正規雇用を促進するため、中小企業の経費の一部を補助する事業を開始した。

#### 6 産業間連携促進事業

産業間連携を促進するため「平塚市産業活性化会議」を開催したほか、産業間連携ネットワーク会員への支援として、セミナーの開催や情報提供、マッチング支援を行った。また、地域資源や経営資源を活用した新商品開発、新事業創出する会員プロジェクトへの取組に対し、専門家派遣や開発費補助等の支援を行った。

#### 7 融資及び信用保証料補助金・利子補給

中小企業の健全な育成振興を金融面から支援するため、取扱金融機関への預託による融資事業を実施し、信用保証料の補助事業、設備投資の促進や経営の安定化に資する融資に対する利子補給事業を行った。

・ 中小企業金融預託金 1,500,000 千円

平塚市中小企業融資制度等利用状況（工業）

資金名		貸付件数(件)	貸付金額(円)
振興資金	運転資金	12	74,300,000
	設備資金	17	124,440,000
経営サポート資金		0	0
セーフティネット保証資金		5	88,000,000
危機関連保証資金		2	30,000,000
リターンアシスト保証資金		1	26,000,000
事業承継支援資金		0	0
経営革新事業支援資金		0	0
新創業支援資金		10	47,680,000
計		47	390,420,000

平塚市中小企業融資制度等利用状況（商業）

資金名		貸付件数(件)	貸付金額(円)
振興資金	運転資金	16	135,500,000
	設備資金	8	21,550,000
経営サポート資金		0	0
セーフティネット保証資金		4	30,500,000
危機関連保証資金		4	21,500,000
リターンアシスト保証資金		0	0
事業承継支援資金		0	0
経営革新事業支援資金		0	0
新創業支援資金		30	139,950,000
計		62	349,000,000

中小企業信用保証料補助金交付状況（工業）

補助対象資金	補助件数(件)	補助金額(円)
平塚市中小企業融資制度	55	6,527,400
（うち、新創業支援資金	12	806,100）

中小企業信用保証料補助金交付状況（商業）

補助対象資金	補助件数(件)	補助金額(円)
平塚市中小企業融資制度	71	7,020,300
（うち、新創業支援資金	33	2,705,600）

中小企業設備資金等利子補給金交付状況（工業）

補助対象資金	補助件数(件)	補給金額(円)
振興資金（設備）	197	5,289,500
経営革新事業支援資金（設備）	0	0
新創業支援資金（設備）	5	93,300
計	202	5,382,800

中小企業設備資金等利子補給金交付状況（商業）

補助対象資金	補助件数(件)	補助金額(円)
振興資金（設備）	120	1,812,100
経営革新事業支援資金（設備）	0	0
新創業支援資金（設備）	17	898,200
計	137	2,710,300

中小企業経営安定化資金等利子補給金交付状況（工業）

補助対象資金	補助件数(件)	補助金額(円)
経営サポート資金	80	3,418,100
セーフティネット保証資金	19	1,534,400
危機関連保証資金	2	24,500
リターンアシスト保証資金	0	0
事業承継支援資金	0	0
経営革新事業支援資金（運転）	0	0
新創業支援資金（運転）	23	590,500
計	124	5,567,500

中小企業経営安定化資金等利子補給金交付状況（商業）

補助対象資金	補助件数(件)	補助金額(円)
経営サポート資金	92	2,859,900
セーフティネット保証資金	7	463,800
危機関連保証資金	4	51,800
リターンアシスト保証資金	0	0
事業承継支援資金	0	0
経営革新事業支援資金（運転）	0	0
新創業支援資金（運転）	36	684,300
計	139	4,059,800

8 産業功労者表彰

市の産業の発展に功労のあった工業界功労者3人、優良中小工場経営者1人、農水産業界功労者1社及び優良永年商店経営者2人を表彰した。

・11月17日（火） 会場 平塚市美術館

9 地域経済キャッシュレス化推進事業

ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた「新しい生活様式」に対応するためのキャッシュレス化を推進するため、スマートフォンを活用した電子版プレミアム商品券「ひらつか☆スターライトポイント」を発行し、事業者や市民へのキャッシュレス決済に係る普及啓発を行った。また、併せてコロナ禍における消費喚起を図り、落ち込んだ市内経済の活性化に繋げた。

- ・発行総額 1,516,671,000円（30%のプレミアム額350,001,000円含む）
- ・加盟店数 1,101店舗
- ・販売店数 251店舗（販売店にはポイント販売額の10%をキャッシュバック）
- ・購入人数 39,600人

## 第2章 農業・畜産業

農水産課

### 第1節 農業

平塚市は県内有数の農業が盛んな都市である。郊外に広がる平野部には、相模川や金目川水系の河川からもたらされる水を活用し、神奈川県内随一の米の生産量を誇る水田地帯が広がり、周囲のなだらかな丘陵部には畑地が開かれ、これらの農地を基盤に稲作、露地野菜、施設園芸、畜産など多種多様な農業が営まれている。

一方で農業の現状に目を移すと、農業者の高齢化や減少、耕作放棄地の発生、鳥獣による被害など、全国各地の農業を取り巻く問題と同様の課題が見受けられる。

本市では、これらの状況を踏まえて策定した「平塚市都市農業振興基本計画」に基づき、大都市近郊の立地を生かしながら、担い手の確保と育成、地産地消の推進、消費者のニーズに応える農産物の生産支援など、農業の持続的な発展に向けた農業施策を積極的に推進している。

#### 1 農業構造と経営耕地の状況

いずれも2020年農林業センサス調べ

農家数 (単位 戸)

市内総世帯数は令和2年2月1日現在

市内総世帯数	112,354	農家比率約1.2%
総農家数	1,321	
販売農家	816	
自給的農家	505	

#### 個人経営体における農業従事者数 (単位 人)

合計	1,893
男	1,065
女	828

#### 地目別経営耕地面積

地目	田	畑	樹園地
面積 (ha)	566	299	15

#### 2 農業生産の状況

稲作は、農業経営の中心を担っており、生産量は県内で最も多く、約2割を占めている。主力品種は、市内にある研究機関が育種した「はるみ」であるが、この品種は、平成27年2月に県の奨励品種として採用され、平成28年産米及び平成29年産米において日本穀物検定協会による「米の食味ランキング」で最高ランクの特Aを獲得し、高品質な米であると評価を受けている。一方、稲作からの転作により、他作物への移行も進んでおり、施設園芸では、トマト・キュウリ・いちごのほか、バラ・鉢物などの花き栽培されている。このうち、トマト・キュウリの栽培においては、最新技術の導入により効率的な営農が展開され、生産物は京浜地方を中心に、市場に出荷されている。いちご栽培においては、栽培技術の研究や市場性の高い品種への転換などにより、良質果実の出荷が行われている。近年ではいちご狩りが盛況で、観光資源としての「農」が見直されている。



花きは、市場性の高いバラやユリなどの切花や鉢物、花壇苗、洋蘭などを栽培し、その多くは関東一円の市場へ出荷されるほか、地元直売所へも出荷されている。

畑作は、年間を通じてほうれんそう・こまつな等が栽培されており、春夏作ではキュウリ・なす・甘しょ・えだまめが、秋冬作ではねぎ・キャベツ・はくさい・大根・ブロッコリーなどが主として栽培されている。また、米からの転作として、ねぎ・さといもなどが栽培され、産地を形成している。

果樹は、かき・なし・ぶどう等を中心に栽培され、病虫害防除の徹底と、整枝せん定により生産性の向上を図るとともに、優良品種の導入や作業の省力化・効率化を目的とした栽培技術の研究を行っている。

販売目的の作物の類別作付（栽培）経営体数（単位 経営体）

区分	類別作付 (栽培)経営体数
稲	617
いも類・豆類	225
野菜類	447
果樹類	63
花き・花木	50

※本市の主な作物を抜粋しました。 2020年農林業センサス調べ

### 3 主な農業振興施策

#### (1) 都市農業促進事業

都市農業への理解を深めるため、平塚産農産物等をPRする番組の制作・放映などを行った。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが実施できないことを受け、市内保育園・幼稚園に本市の農産物を紹介する紙芝居を動画にして配布するなど、工夫した取組を展開した。また、地産地消の推進を図るため、生産団体が実施する消費促進に関する取組を支援した。

#### (2) 担い手総合対策事業

新型コロナウイルス感染症の影響下でも食料の安定供給や生産量の増大を図るために、スマート農業の導入を支援し農業経営の効率化を図るほか、高齢化や担い手不足により、多くの農業者が利用する農作業受託組織に対して、農業機械等購入費の補助を行った。また、新たな担い手の確保・育成に向けた取組を支援するとともに、認定新規就農者に対して、国の交付金を活用し、就農当初の資金を支援した。

#### (3) ひらつか花アグリ推進事業

四季折々の花を楽しみ、園芸や農業を体感・体験できる「ひらつか花アグリ」（寺田縄）への来場者を確保し、農業の振興と理解を図るため、エリア内の県立花と緑のふれあいセンター「花菜ガーデン」、JA湘南大型農産物直売所「あさつゆ広場」、平塚市「農の体験・交流館」の各施設が連携した事業を行った。また、「農の体験・交流館」と金田市民農園「マイ菜ファーム」において、農業に親しむ場を提供するなど農業理解を図った。

(4) 農業振興対策補助事業

地場産農産物の安定した生産・出荷を促進するために、平塚市園芸協会の支援、野菜価格安定事業及び野菜出荷奨励事業などを実施した。また、園芸廃棄物処理システム事業補助金を交付し、環境に配慮した農業生産を支援した。

(5) 農作物鳥獣被害対策事業

平塚市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣防除用資材購入に対する補助とともに、国の交付金を活用して、イノシシ、ニホンジカ及びカラスの捕獲、県及び地域と連携した藪の刈払いを実施した。また、令和3年度から5年度までの計画期間となる平塚市鳥獣被害防止計画を策定した。

## 第2節 畜産業

近年の畜産業は、豚熱（CSF）や鳥インフルエンザ等の感染症対策を筆頭に宅地開発や住居の混住化等に伴う環境改善対策施設整備、後継者不足、高額な飼料価格及び牛乳の消費低迷等、様々な問題が発生している。

このような厳しい経営環境の下、畜産環境改善対策の一環として、家畜用浄化槽や堆肥化施設等の家畜排せつ物処理利用機械施設の改修に対して、畜産農家への支援事業を実施した。また、家畜の伝染病対策として、平塚市畜産会を通して、県家畜保健衛生所及び県畜産会と連携し、予防注射の補助制度を設け、伝染病の発生予防に努めた。

1 地区別農家数及び飼養頭数の状況

農家数：令和3年3月31日現在

飼養頭数：令和2年2月1日現在

区分		地区名								
		土沢	金目	岡崎	金田	豊田	城島	神田	大野	計
乳用牛	農家数(戸)	7	2	2	3	2	2	2	3	23
	頭数(頭)	175	38	88	84	123	90	65	107	770
肉用牛	農家数(戸)	1	1			1				3
	頭数(頭)	35	25			58				118
豚	農家数(戸)			3		1				4
	頭数(頭)			4,401		1,365				5,766
鶏	農家数(戸)	1								1
	頭数(頭)	221								221

## 2 主な畜産振興施策

### (1) 畜産経営技術講習会、研修会

畜産経営の向上のための技術講習会や研修会の開催を支援している。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。

### (2) 平塚市畜産共進会

畜産技術の向上と普及啓発を目的に、平塚市畜産共進会を開催している。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。

なお、市庁舎で次年度の開催に向けたPRを行った。

### (3) 家畜伝染病予防注射事業

家畜伝染病予防法に基づく注射及び検査等について、県家畜保健衛生所と密接な連絡を取りながら、畜産会との連携の下に家畜防疫推進のための支援を行った。

### (4) 乳用とく育成管理共進会

優れた資質を持つ「とく牛」の基礎となる乳用牛の飼養管理及び育成技術の向上を図るため、共進会の開催を支援した。

### (5) 家畜用浄化槽維持管理共励会

畜産環境の向上を目的に整備された家畜用浄化槽の適正な維持管理のため、関係機関とともに巡回指導を行う共励会を支援した。

### (6) 自給飼料作物栽培促進対策

飼料高騰に伴う畜産農家の経営の安定と農地の遊休化防止及び自給率向上のため、自給飼料作物の種子購入経費を補助した。

### (7) 畜産環境対策促進事業

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づき、畜産農家が家畜用浄化槽や堆肥化施設等の家畜排せつ物処理利用機械施設を改修等する際の費用の補助及び脱臭資材購入費の補助を行い、畜産環境対策の促進を図った。また、畜産環境の保全及び家畜防疫の推進を図るため、畜産農家が死亡家畜を処理する費用の一部を補助した。

### 第3節 土地基盤整備事業

本市の市域に広がる農地は、農産物の供給のほかにも、防災や環境の保全などの多面的な機能を担っており、都市における様々な役割が期待されている。

水田の大部分は、農業構造改善事業が早くから導入されたことなどにより、一反（約10アール）を基本とした長方形に整備されている。また、その後実施した農業基盤整備事業で農道・水路の整備や暗渠の敷設を行ってきた。

土地改良事業は、農業経営の近代化に対応した生産基盤としての耕地の整備改良及び都市農業に対応した施策として、主に農業振興地域内を対象とした農道整備事業、用排水路改修事業を実施している。

#### 1 土地改良事業

##### (1) 県費補助農とみどりの整備事業

- ア 農道改良 2か所 L= 107.2m
- イ 用排水路改修 2か所 L= 82.4m

##### (2) 市単独補助小規模土地改良整備支援事業

- ア 用水ポンプ施設修繕等  
1か所 部品交換及び整備等
- イ 取水施設修繕等  
6か所 部品交換及び整備等
- ウ 暗渠施設等  
1か所 部品交換及び整備等

# 第3章 水産

農水産課

## 第1節 水産業

自然の海岸が多く残り、黒潮の流れを受ける外洋性の相模湾には四季折々1,300種類余りの魚が確認されている。そのほぼ中央に位置する平塚は、漁業の歴史も古く、16世紀半ばには組織的な漁業が行われていた記録が残されている。その後、時代とともに漁法が変遷してきたが、とりわけ一網100人以上の人手を抱えたブリの大謀網や、伊豆諸島近海を主漁場にして全国に名を馳せた「須賀のカツオ一本釣り」、最盛期には十数ヶ統の網元を数えた地引き網などが特筆される。

現在の漁業は、サバ、アジ、イワシなどを対象とした定置網漁業とシラス船引き網漁業を中心に、ヒラメなどを獲る刺し網なども行われ、新鮮な魚を水揚げしている。また近海カツオ一本釣り漁業から転向した遊漁船業は、県内外を問わず多数の遊漁客を集めている。こうしたなか平塚市では、水産資源確保のためヒラメの稚魚の放流や、漁場の活性化のための海底耕うんなどを支援している。また相模川河口対策事業基金からの益金を活用し、航路の維持をはじめ様々な水産振興施策を展開している。また、地産地消にも積極的に取り組み、近年では、6次産業化の考えも取り入れ商品開発に力を入れている。

### 1 魚種別水揚量

令和2年分

区分	総数	さば	いわし	あじ	しらす	その他
漁獲(トン)	480	241	54	45	78	61

### 2 利用船

令和2年分

種別	区分						
	利用船総数		地元船		外来船		
	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	
漁船	無動力漁船	—	—	—	—	—	—
	動力漁船総数	40	399	40	399	—	—
	3トン未満	8	12	8	12	—	—
	3～5トン	4	17	4	17	—	—
	5～10トン	3	24	3	24	—	—
	10～20トン	25	346	25	346	—	—
	20～50トン	—	—	—	—	—	—
計	40	399	40	399	—	—	

### 3 漁港施設

外かく施設：導流堤 908.7m、護岸 84m、防波堤 855m、防潮堤 207.7m

けい留施設：岸壁 594m、船揚場 35m、棧橋 250m、浮棧橋 314.7m

水域施設：泊地 50,566 m<sup>2</sup>、航路 14,966 m<sup>2</sup>

輸送施設：臨港道路 464.3m、駐車場 13,379 m<sup>2</sup>

環境施設：多目的広場（しおかぜ広場）4,564.7 m<sup>2</sup>

### 4 主要施策

#### (1) 水産振興推進事業

地域漁業の発展のため、6次産業化やその他漁業協同組合等が行う事業活動や漁業者の設備導入に対し支援した。また、水産物のブランド化事業や水難救護法に基づく団体等への補助を行った。

#### (2) 漁港施設維持管理事業

漁港施設の保全や安全な航路を確保するため、漁港施設や航路維持管理を行った。また、漁港施設の長寿命化を図るため、漁港機能保全計画に基づき右岸導流堤の改修工事を行った。

#### (3) 市民との交流推進事業

海や魚の魅力を高めるため、漁業や海洋レクリエーション等の生産者と消費者の交流事業を行った。

#### (4) 漁業後継者育成事業

漁業の担い手につなげる子どもたちや新規就業者に漁業への理解を深めるため、各種研修や体験漁業、市場見学等の活動を支援した。

## 第2節 漁港整備

平塚漁港の漁港施設は、戦災復興都市としての区画整理事業の実施に伴い、相模川河口の自然港の須賀湊を、掘り込み式漁港として整備(昭和26年2月15日完成)、引き続いて相模川河口部に、航路の確保を目的とした導流堤を建設してきた。

一方、相模川高度利用事業の進展によって、上流にダムや取水堰などが建設され、流下水量が減少したことによって、河口部に海からの漂砂が堆積し航路の維持に苦慮していること、また、遊漁船等の増加により漁港の狭隘化が進んだことから、平成元年度、海岸部に新たに漁港施設を建設するため「新港整備計画」に着手した。この計画に基づき、地域漁業の活性化と海洋レクリエーションとの共存を図ることを目的として、安全性、機能性、快適性等を向上させた漁港施設と、遊漁船等を収容するフィッシャリーナ施設の整備を実施し、平成12年7月に供用を開始した。その後、平塚新港内に平成14年度に荷さばき施設、平成15年度に製氷貯水施設、平成16年度に殺菌冷海水供給装置施設を整備するなど水産業の基盤整備を進めてきた。さらに、漁業環境の向上を目的に、令和2年4月には、多目的広場を整備した。

### 第3節 平塚市水産物地方卸売市場

平塚市水産物地方卸売市場は平塚市が開設する公設市場である。その前身は昭和31年に、流通機構の改善と水産物の公正な取引き並びに生鮮魚介類の需要の増加に応えるため、本市が市場施設を建設したことにより、市有民営の形態を持つ魚市場として発足している。

そして昭和46年の卸売市場法制定、また翌年の神奈川県卸売市場条例の施行を受けて、昭和47年12月1日、本市は平塚市地方卸売市場業務条例を施行し、翌昭和48年3月1日、神奈川県知事の認可を受け、「平塚市水産物地方卸売市場」が誕生した。

その後の更なる水産物需要の増加に対応するため、昭和50年8月に市場施設の新築工事を行い、昭和51年度～52年度にかけては駐車場、倉庫等の附属施設及びその他付帯施設の工事を実施し、今日に至っている。

当市場は地元海産物が水揚げされる平塚漁港に隣接し、生産地市場の要素を含んだ消費地市場という特徴を持つ。実際に地元海産物の取扱状況を数量で見ると全体のおよそ20.2%、金額では6.3%（令和2年度実績）であり、その他はすべて陸上輸送による集荷に頼っている。

当市場に集荷された水産物は、卸売業者から小売業者が直接買い受け、平塚市を中心に、湘南・県央地域の市町村をはじめ、広範囲に分荷されている。

#### 1 平塚市水産物地方卸売市場取扱状況

##### (1) 取扱数量

単位：トン

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般鮮魚	618	656	774	638	485
転送鮮魚	63	66	58	60	41
地元水揚鮮魚	359	343	210	233	362
冷凍品	165	130	135	126	97
塩干品	805	828	1,496	806	807
合 計	2,010	2,023	2,673	1,863	1,792

##### (2) 取扱金額

単位：千円

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般鮮魚	665,065	680,139	845,892	725,460	547,059
転送鮮魚	74,503	79,550	79,277	83,379	54,253
地元水揚鮮魚	139,652	154,999	120,094	75,599	94,669
冷凍品	217,688	195,637	200,073	189,716	133,928
塩干品	755,476	730,430	830,251	829,831	678,357
合 計	1,852,384	1,840,755	2,075,587	1,903,985	1,508,266

## 第4章 商業観光

商業観光課

### 第1節 商業

戦後一大発展をとげた平塚商業は、かつて本市の商圈であった近隣都市やロードサイドへの大型店等の進出、コンビニエンスストアの出店などによって、本市の中心商店街の集客力が低下し、商圈の縮小を余儀なくされている。

これを打開するため、中心市街地活性化法に基づき、平成13年度に策定した平塚市中心市街地活性化基本計画により、平塚商工会議所が設立した「湘南ひらつかTMO」による「チャレンジショップ」や「手づくり食工房」等の事業運営などを行ったが、平成18年の法改正で、基本計画の法的な位置づけが無くなり、「湘南ひらつかTMO」は平成22年度に終了した。その後、平成24年度に、平塚商工会議所により中心市街地活性化調整協議会が組織され、空き店舗に出店する事業者へ家賃補助を行う「平塚市中心市街地出店促進事業」等の中心市街地の活性化事業を開始した。平成28年度では、大型商業施設との差別化を図るとともに新たな顧客を呼び込むため、平塚市商店街連合会が主体となって「駅近キラ☆キラ商店街」事業及び「第1回まちゼミ」を実施した。また、商業の活性化には、個々の商店が魅力的、個性的であることが重要なため、個店の活性化を積極的に進め、平成21年度には、平塚商工会議所と平塚市商店街連合会の共催により、個店が逸品を打ち出すことで、魅力的、個性的な店舗づくりを推進する「平塚逸品研究会」が発足した。さらに平成25年度から、販売促進や経営支援等を目的に専門知識や経験を有するアドバイザーを派遣し、平成26年度からは、手作業にこだわり、伝統的な技や卓越した技術力等により、自店及び自社で製造した製品を販売する店舗及びサービスの提供を行う店舗を「匠の店」として認定する制度を開始した。

今後の本市の商業発展には、消費者に選ばれる個店づくりと経営強化、近隣都市や近郊の大型商業施設等との差別化を図る個性豊かな商店街づくり、駅周辺の集客施設の整備などと連動した中心市街地の活性化に向けた具体的な事業の実施が課題である。



## 1 商業の推移

### (1) 卸売業・小売業の推移

区 分	種 別	19 年	26 年	28 年
商 店 数	卸 売 業	537 店	379 店	370 店
	小 売 業	1,973	1,237	1,410
	計	2,510	1,616	1,780
年間商品販売額	卸 売 業	475,319 百万円	322,526 百万円	339,644 百万円
	小 売 業	267,780	216,409	258,532
	計	743,099	538,936	598,176
1店当り販売額	卸 売 業	88,513 万円	85,099 万円	91,796 万円
	小 売 業	13,572	17,495	18,336
	計	29,605	33,350	33,605
従 業 者 数	卸 売 業	6,369 人	3,580 人	3,727 人
	小 売 業	15,872	12,223	13,382
	計	22,241	15,803	17,109

商業統計調査結果（平成19年及び26年数値）

経済センサス-活動調査結果（平成28年数値）

注：平成26年調査は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成19年調査の数値とは接続しない。

平成28年調査は、平成26年で商業統計調査が終了したことに伴い、経済センサス-活動調査結果の数値であるため、平成26年調査とは接続しない。

端数処理により、合計額が合わない場合がある。

#### ア 卸売業

卸売業の年間商品販売額は3,396億円で、横浜市・川崎市・厚木市・相模原市に次いで第5位となっている。

#### イ 小売業

小売業の年間商品販売額は2,585億円で、横浜市・川崎市・相模原市・藤沢市・横須賀市に次いで第6位となっている。

## (2) 卸売業業種別状況

業種別	商店数	従業者数	年間商品販売額
各種商	2店	6人	X百万円
繊維	0	0	0
衣身の	7	20	X
身の	2	6	X
農畜産物・水産物	24	483	50,262
食料・飲料	29	494	38,511
建築材料	49	476	90,562
化学製	35	571	22,113
石油・鉱	10	77	16,670
鉄鋼製	10	77	X
非鉄金	1	1	X
再生資	12	69	1,796
産業機械器具	35	217	10,673
自動車	24	279	16,200
電気機械器具	25	155	12,933
その他の機械器具	21	208	14,092
家具・建具・じゅう器等	18	110	6,199
医薬品・化粧品等	18	214	29,018
紙・紙製	7	23	1,657
他に分類されない卸売業	41	241	X
計	370	3,727	339,644

平成 28 年経済センサス-活動調査結果

## (3) 小売業種別状況

業種別	商店数	従業者数	年間商品販売額
百貨店・総合スーパー	1店	75人	X百万円
その他の各種商品	2	2	X
呉服・服地・寝具	21	83	834
男子服	25	130	2,173
婦人・子供服	87	500	8,438
靴・履物	18	71	1,046
その他の織物・衣服・身の回り品	57	333	3,068
各種食料品	38	2,295	44,064
酒	30	140	2,794
食肉	15	64	696
鮮魚	33	103	1,182
野菜・果実	32	111	1,435
菓子・パン	89	617	4,740
その他の飲料品	196	2,991	32,916
自動車	131	1,147	44,935
自転車	23	57	434
家具・建具・畳	24	110	1,790
機械器具	66	479	20,201
じゅう器	22	66	614
医薬品・化粧品	156	1,429	30,469
農耕用品	6	40	1,354
燃料	59	386	15,781
書籍・文房具	37	581	6,310
スポーツ用品・玩具・娯楽用品・楽器	38	296	4,382
写真機・時計・眼鏡	24	125	1,598
他に分類されない小売業	136	828	10,435
通信販売・訪問販売	30	210	9,879
自動販売機による小売業	4	46	2,203
その他の無店舗小売業	10	67	2,578
計	1,410	13,382	258,532

平成28年経済センサス-活動調査結果

注：「X」・・・集計対象となる事業所（企業等）の数が1又は2であるため、集計結果をそのまま公表すると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがある場合に、該当数値を秘匿した箇所。また、集計対象数が3以上の事業所（企業等）に関する数値であっても、合計との差引きで、集計対象が1又は2の事業所（企業等）の数値が判明する箇所は、併せて「X」としている。

## 2 主要施策

人々の価値観や消費者ニーズは多様化してきており、これらに適切に対応した経営力強化のための経営意識の啓発、商店街施設の改善、店舗の魅力アップなどの推進施策を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策として、小規模事業者に対する事業所賃借料相当額の補助などを行った。

### (1) 商業活性化の推進

#### ア 商店街にぎわい創出事業

##### (ア) 中心街活性化事業

中心市街地の活性化のため、事業の企画・実施を行う「中心市街地活性化調整協議会」の運営に対して支援を行った。中心商店街の各店主などが講師となり、プロならではの知識やコツを教える「まちゼミ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったが、過去の参加店舗の生活に役立つお得な情報を掲載した冊子「平塚まちゼミN A V I」を発行した。

##### (イ) にぎわい創出事業

市民とのふれあい促進、商店街の魅力発信など商店街の活性化を図るため、商店会が行う交流事業や販売促進活動事業への支援を行った。

##### (ウ) 商店街アドバイザー派遣事業

商店街の活性化を推進するために、商店街団体が行う事業に対し助言するアドバイザーを派遣した。

派遣商店街団体数 2 商店街団体 派遣回数 延べ4回

#### イ 市民プラザ運営補助事業

産業振興と市民の生活文化及びコミュニティの向上を図るため、展示と催事ができる多目的のホールとして設置された「ひらつか市民プラザ」の管理・運営に伴う経費等の補助を行った。

20 行事 入館者 延べ5,627人 1日平均入館者 約51人

### (2) 魅力ある商店街の形成

#### ア 商店等魅力アップ推進事業

##### (ア) 商業経営セミナー

“With コロナ時代を生き抜く” パッと目を引くホームページ活用講座

開催回数 2回 参加者 延べ13人

##### (イ) 個店アドバイザー派遣事業

専門知識や経験を有するアドバイザーを派遣し、個店における販売促進や経営に関する支援を実施した。

派遣店舗数 6店舗 派遣回数 延べ21回

##### (ウ) 平塚逸品研究会

新型コロナウイルス感染症の影響により休会とした。

イ 商店街共同施設整備促進事業

商店街の環境整備を図り、その発展に資するため商店街が共同で整備する街路灯の改修費等に対し一部補助を行った。

ウ 商店街共同施設維持管理事業

買い物客等の安全性、利便性及び快適性を高めるために、商店街に整備された商店街団体が管理する施設の電気料、上下水道使用料、アーケードの清掃等の維持管理に要する経費の一部補助を行った。

(3) 商業経営環境の強化

平塚市商店街連合会補助事業

平塚市商店街連合会の運営に対し補助を行い、その育成に努めた。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策事業

ア 小規模事業者経営維持緊急支援事業

市内の事業所で営業し、当該事業所を賃借している事業者で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて一時的に業況悪化した小規模事業者に対し、30万円を上限に建物賃借料の2カ月分相当額を補助する「平塚市新型コロナウイルス感染症の影響に伴う小規模事業者経営維持緊急支援補助金」を実施した。

(ア)申請期間 4月27日(月)～7月17日(金)

(イ)交付事業所数 1,388事業所

(ウ)交付金額 285,127,000円

イ #hiratsukafoodプロジェクト

新型コロナウイルス感染症の拡大により来店客の減少など大きな影響を受けている市内の飲食店について、テイクアウトやデリバリー商品の情報を市民、飲食店それぞれからツイッターで発信することにより応援する取り組みである「#hiratsukafoodプロジェクト」を実施した。「お気に入りのお店の商品を紹介したい」、「自店おすすめの料理をテイクアウトしてもらいたい」といったツイートを通じて、飲食店を応援した。

(ア)開始日 4月7日(火)

ウ 飲食店経営緊急支援事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている飲食店を支援するため、クラウドファンディングを活用し市内の飲食店で使用できる食事券の発行及び寄付を募る「ALLひらつか飲食店サポータープロジェクト実行委員会」を支援した。

(ア)クラウドファンディング実施期間 5月1日(金)～5月30日(土)

(イ)クラウドファンディング支援総額 18,842,100円

(内訳) 食事券購入支援額 14,130,100円

食事券購入なし支援額 4,712,000円

(ウ)平塚市補助金 4,014,693円

## エ 新しい生活様式に取り組む中小企業等応援金事業

新しい生活様式に則って、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図り、安心・安全な社会生活の再開に向けて取り組みを行う中小企業等を支援した。

対象者は、神奈川県が実施するLINEを利用した感染拡大防止対策「LINEコロナお知らせシステム」を活用し、業種ごとに定められた感染対策のガイドライン等に沿った取り組みを実施する事業者とした。

(ア)申請期間 7月27日(月)から11月30日(月)まで

(イ)支援額 1事業者につき5万円

(ウ)交付件数 3,901件

(エ)交付金額 195,050,000円

## オ 雇用維持支援金事業

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、緊急事態宣言を受け、県内の夜間営業時間の短縮要請に協力した飲食店等の事業の継続を図るとともに、従業員の雇用を維持することを目的とした雇用維持支援金事業を実施した。

(ア)第1弾 申請期間 令和3年2月16日(火)～令和3年11月30日(火)

(イ)第2弾 申請期間 令和3年3月29日(月)～令和3年11月30日(火)

## 第2節 計量

商工業者にとっては、量目等の正確な計量は、品質の向上、経費の節減等に直接関係することであり、また、消費者の信頼を醸成するためにも極めて重要である。本市の計量事務は、定期検査や啓発普及活動などを通じて市内商工業の活性化に寄与することを主眼に実施した。

### 1 特定計量器の定期検査

取引・証明に使用する計量器(はかり)に2年に1回義務付けられている検査を、市内商工業者等を対象に、市の指定定期検査機関である(公社)神奈川県計量協会が実施した。

- ・電気式はかり・機械式はかり

はかりの種類(ひょう量)		検査台数
電気式	100kg以下	369台
	250kg以下	111
	500kg以下	3
	1000kg以下	1
	100kg以下(精度1万分の1未満)	30
機械式	直線指示ばかり他	0台
	100kg以下	285
	250kg以下	11
	500kg以下	0
	1000kg以下	0
計		810

- ・ 大型はかり

はかりの種類 (ひょう量)	検査台数
10t 以下	3台
20t 以下	0
40t 以下	5
50t 以下	4
60t 以下	1
計	13

## 2 立入検査等

商品量目検査(商品試買検査)を実施した。なお、計量法第148条に基づくLPGメーター、ガソリンメーター検査は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

商品試買検査(即席めん類) 購入店舗数 1店舗 検査個数 25個 不適正個数 0個

## 3 計量管理思想の推進

県の定める、7月及び12月の「正量取引強調月間」及び11月の「計量管理強調月間」に、啓発用ポスター・ステッカー等を関係事業所や公共機関に掲示した。また、市のホームページに「計量検査」を掲載するとともに、消費生活展では計量コーナーを設け、計量の普及啓発に努めた。

自ら計量管理を実施する適正計量管理事業所を対象に、県と合同で実施する実態調査は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

## 第3節 観光

近年、比較的観光資源が乏しいといわれる本市においても、東に湘南潮来、西に湘南平をはじめとする「平塚八景」、その他市内に散在する数々の史跡、旧跡や伝統芸能等、市民の欲求にこたえられるものが数多くみられる。これらの観光資源の紹介とともに、近隣市との広域連携や関係諸団体との連携などによる新しい観光資源の開発などにより、市民生活に潤いを与えつつ市民の郷土に対する愛着を深める諸事業を実施した。

### 1 湘南ひらつか七夕まつりの開催

7月3日(金)から5日(日)に予定していた「第70回湘南ひらつか七夕まつり」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。

なお、「第70回湘南ひらつか七夕まつり」の名称は来年の開催に使用することとした。

これまで70回続いてきた七夕まつりの魅力と文化の継承、地域への浸透を行い、次回以降に開催する七夕まつりへの機運を高める必要があることから、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い、安心・安全に七夕を感じることができるイベントを関連する団体が代替事業として実施した。

## 2 湘南ひらつか花火大会の開催

「第70回湘南ひらつか花火大会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。  
なお、「第70回湘南ひらつか花火大会」の名称は来年の開催に使用することとした。

## 3 観光団体

(一社) 平塚市観光協会

(1) 会員 110人(団体110、個人0) 役員 26人

(2) 予算

○一般会計	18,860千円
○特別会計(観光史跡整備資金)	260,100円
○特別会計(市民プラザ運営管理事業)	6,360千円
○特別会計(市民プラザ常設販売事業)	1,170千円

(3) 主な実施事業

- アマダイ沖釣り大会 12月5日(土) 参加者 123人
- ひらつかタマ三郎周遊船ツアー 新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。
- 観光風景写真コンクール 募集7月8日(水)～8月21日(金) 応募点数 393点  
展示10月15日(木)～10月20日(火)
- 菊花展 11月1日(日)～11月15日(日) 出品数 約60鉢
- 湘南ひらつか七福神めぐり 新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。
- 地域観光資源情報発信事業  
Webサイト「湘南ひらつかナビ」による各種情報の提供やフェイスブック等での情報発信
- 物産販売事業  
ひらつか市民プラザ内「観光物産販売コーナー(みなくる平塚)」、オンラインギフトショップ「平塚ギフト」での名産品等販売

## 4 主な名所の年間観光客数(神奈川県観光客入込調査報告書による)

- 湘南平 674,000人
- 湘南潮来 223,000人

## 5 近隣市町との広域観光

○湘南地区観光振興協議会

協議会の一員としてPR用ガイドブックを作成した。

県外キャンペーン等の誘致活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。

○上野東京ライン沿線でのキャンペーン

神奈川集中観光キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。



## 6 観光資源の紹介

- ホームページにより市内観光資源を紹介した。
- 「湘南ひらつか七夕まつり」PRキャンペーン  
湘南ひらつか七夕まつりの開催中止に伴い、中止した。
- インバウンド誘致  
神奈川県観光魅力創造協議会主催の「インバウンド商談会」において、旅行者に市内観光資源を紹介した。  
10月13日（火）旅行者30社
- 平塚市民・大学交流委員会事業  
東海大学観光学部生の視点で平塚市内の観光資源を掘り起こし、学生目線で作成した「湘南ひらつかサイクリングマップ」を増版した。
- 市内観光資源を巡るツアーの企画協力  
平塚のバラの名所を巡るツアーは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

## 第5章 工業

産業振興課

令和2年6月1日現在で実施された「工業統計調査（速報）」について、その主要項目から、本市の概況をみると次のようになっている。

(1) 事業所数

製造業を営む事業所数は334事業所で、前回に比べ11件（3.4%）増加した。

(2) 従業者数

製造業に従事している従業者数は21,173人で、前回に比べ505人（2.4%）増加した。

(3) 製造品出荷額等

製造品出荷額等は1兆2,459億6,900万円で、前回に比べ752億5,600万円（5.7%）減少した。

※前回とは、2019年工業統計調査確報値です。

### 1 中小企業の振興対策

日本経済の中核としてその役割を担っている中小企業にとって、特徴のある製品開発と精度の高い品質保証は、その企業の成長、業績の向上のために必要不可欠となっている。

しかし、こうした技術の活用・導入には、多額の資金を要するため、中小企業発展の課題となっている。本市としても中小企業を取り巻く経営環境の変化に対応し、活力と創造力あふれる企業づくりを支援するために、国・県の中小企業施策に併せながら、次のような主要事業を展開した。

(1) 企業立地等促進事業

工業の活性化と雇用機会の促進を目的とした従来の工業活性化促進事業を更に充実させた制度を新たに設け、平成22年4月から申請受付を開始している。また、平成26年度から要件を満たした場合は、施設整備助成の補助対象期間を2年間延長するとともに、企業立地奨励助成及び市内発注奨励助成を追加するなど、支援内容を拡充している。

ア 施設整備助成

企業が市内に事業所等を新設又は増設した際、土地、家屋、償却資産の取得にかかった費用が一定基準以上（大企業は3億円以上、中小企業は5千万円以上）の場合に、固定資産税、都市計画税相当額の2分の1の額を要件を満たした場合は7年間、その他は5年間助成する。（限度額：助成累計5億円。企業立地奨励助成と市内発注奨励助成を含む）

- ・令和2年度適用申請 4件
- ・令和2年度交付実績 20件 97,214,000円

イ 企業立地奨励助成

施設整備助成適用企業が、研究所や情報通信業の用地、又は5,000㎡以上の用地を取得した場合に、対象となる土地の固定資産税、都市計画税相当額の2分の1の額を初年度に限り助成する。

- ・令和2年度交付実績 1件 2,336,000円

ウ 市内発注奨励助成

施設整備助成適用企業が、新規に購入する建物及び償却資産の全額を、市内企業に発注し、支払をした場合、当該建物及び償却資産の固定資産税、都市計画税相当額の2分の1の額を初年度に限り助成する。

エ 新規雇用助成

施設整備助成適用企業が、市内在住者を常用従業員として雇用した場合に、雇用1人につき30万円(中小企業の場合は50万円)を助成する。また、雇用者のうち20歳未満の者、60歳以上の者及び障害者の雇用の促進等に関する法律で定める障がい者を雇用した場合には、奨励加算として20万円を助成する。(限度額:1,000万円)

- ・令和2年度適用申請 1件
- ・令和2年度交付実績 2件 3,800,000円

オ 環境設備助成

施設整備助成適用企業が、雨水活用設備を設置した場合には貯水量1m<sup>3</sup>につき5万円を乗じた額(限度額100万円)を、太陽光発電設備を設置した場合には発電能力1kwにつき10万円を乗じた額(限度額300万円)を、風力発電設備を設置した場合は発電能力1kwにつき5万円を乗じた額(限度額100万円)を、蓄電設備を設置した場合は当該設備の導入に掛かった費用に0.25を乗じた額(限度額100万円)を助成する。

カ 持続可能な経営奨励助成

企業が取り組む働きやすい環境づくりを後押しし、災害時において組織の変化への適応力や回復力を高めるために、設備投資と併せてイクボスの取り組みやBCPの策定などを行っている企業に対するインセンティブを設ける。

キ 中小企業設備投資促進助成

市内の中小企業が、生産の拡大、生産品の変更、新製品の開発及び生産のため設置する機械及び装置等で、総額2,000万円以上のものを対象に取得額の2%を助成する。(限度額:300万円)

- ・令和2年度交付実績 3件 4,897,000円

(2) 産学共同研究支援事業

新製品開発、技術開発等、技術革新を進める市内中小企業者等が大学等と共同研究に係る契約を締結した場合に、費用の一部を補助する。

- ・令和2年度交付実績 1件 450,000円

(3) 中小企業退職金制度の整備・充実の促進

独立行政法人勤労者退職金共済機構の行っている中小企業退職金共済制度及び商工会議所が取り扱っている特定退職金共済制度への加入を促進する目的で共済掛金の一部を補助した。

中小企業退職金共済掛金補助状況

制度名	申請件数(件)	対象人員(人)	補助金額(円)
中小企業退職金共済制度	50	253	976,500
特定退職金共済制度	7	50	220,800
計	57	303	1,197,300

#### (4) 湘南ひらつかテクノフェアの開催に伴う支援

企業間及び大学との技術交流を深め、新規取引の拡大と産学連携を図ることを目的として、令和2年度に予定していた「湘南ひらつかテクノフェア 2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、実行委員会の判断により開催中止となった。

### 2 波力発電関連分野での新産業創出促進事業

波力発電関連分野での新産業創出と地域活性化を図るため、平塚市と東京大学生産技術研究所が協力し、さまざまな企業が参画する産学公の平塚海洋エネルギー研究会を平成28年6月9日に発足した。

東京大学生産技術研究所が平成30年度CO<sub>2</sub>排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業（二次公募）に採択され、平塚波力発電所の海域実証が進みだした。これを受け、平成31年3月19日に東京大学生産技術研究所と平塚市は連携協力協定を締結した。

令和元年度は、平塚波力発電所の制作が市内外の企業で進められ、令和2年2月5日に設置工事が完了した。経済産業省の使用前検査に同2月17日に合格した。これにより、平塚波力発電所の海域実証が始まった。

令和2年度に予定していた平塚波力発電所の開所式は、新型コロナウイルス感染症の影響で取りやめ、オンラインでの記者発表を行った。多くの市民や企業視察の受け入れの他、再生可能エネルギー世界展示会への出展、海洋白書2021への寄稿、ひらつかビジネスチャンネルへの動画掲載等により、平塚波力発電所のPRを行った。

### 3 その他

平塚市児童生徒創意くふう展は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

なお、令和2年度をもって事業を終了することとなった。

## 第6章 労働行政

産業振興課

我が国では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が経済活動の停滞を招き、雇用等にも大きなインパクトを与えた。また、少子高齢化による労働力人口の減少が進み、人口減少時代にあっては、女性や高齢者の活用の重要性が注目されてきており、仕事と子育てや介護との両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現に向けた取組が必要とされている。

これらに対応するため、労働関係行政機関との連携を図り、就労支援や勤労者の福祉施策などを行った。

### 1 就労支援事業

#### (1) ニート 親のためのセミナー・相談会

近年増え続けている「ニート」と呼ばれる若者のための施策として、「ニート」の親を対象としたセミナー及び相談会を、青少年課及び神奈川西部地域若者サポートステーションと連携し開催した。

会場 平塚市勤労会館

講師 特定非営利活動法人子どもと生活文化協会 和田 重宏 氏

(県西部地域若者サポートステーション受諾団体)

#### ア 相談会

12月17日(木) 相談件数 6件

#### イ セミナー

12月17日(木) 参加者数 10人

#### (2) 就労支援セミナー

令和2年度は、求職者の就労を支援し、在職者の定着を支援するため、次のセミナー等を開催した。

#### ア 企業合同就職面接会直前若年者向けセミナー(対象:39歳以下)

新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

#### イ 企業合同就職面接会直前中高年者向けセミナー(対象:40歳以上)

新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

#### ウ ビジネスマナー講座

・3月10日(水) 参加者数9人 オンラインで開催

#### エ 女性のための再就職応援セミナー

・3月19日(金) 参加者数3人 オンラインで開催

#### (3) 企業合同就職面接会

就職・再就職を希望する方と求人企業との直接の出会いの場をつくり、効率よく就職活動が行えることを目的として「企業合同就職面接会」を、関係機関及び近隣市町と連携し開催した。

・主催 平塚市

・共催 平塚公共職業安定所、平塚商工会議所、伊勢原市、茅ヶ崎市、秦野市、大磯町、二宮町

11月30日(月)、12月1日(火) 会場 ラスカ平塚 6階ラスカホール

- ・参加事業所数 48 事業所
- ・参加求職者数 94 人（うち、採用された求職者数 9 人）

#### (4) 就労相談

就職に悩んでいる方やその家族を対象に、問題解決の糸口がつかめるように経験豊富なキャリアアコンサルタントが個別相談に応じた。

- ・会場 平塚市勤労会館
- ・実績 毎月2回 年間相談件数 58 件

### 2 技能者表彰

技能の練磨及び後進の育成を目的に、その職種の向上発展に功績のあった方を表彰した。被表彰者は17人で、技能功労者8人、優秀技能者9人であった。

- ・11月17日（火） 会場 平塚市美術館

### 3 勤労者金融支援事業

勤労者の生活の安定と向上を図るため、「平塚市勤労者生活資金融資要綱」に基づき「中央労働金庫」に対し預託を行った。

なお、融資対象者は、市内に居住又は市内の同一事業所に1年以上勤務する方。

令和2年度の利用件数は、123件（新規1件）で融資額は89,251,352円（新規3,000,000円）であった。基本となる金利は、上半期2.00%、下半期2.00%であった。

### 4 中小企業福利厚生支援事業

中小企業の従業員及びその事業主の福利厚生の増進等の事業を、会員事業所に対して実施している平塚市勤労者共済会に補助金11,422,000円を交付した。

平塚市勤労者共済会は、平成6年4月に事業を開始し、令和3年3月末現在の会員数は、426事業所、1,494人となっている。

令和2年度の福利厚生事業として、文化教養事業では各種教室等の7事業に55人が参加、レクリエーション事業（スポーツ大会含む）では6事業に91人の参加があり、割引あっせん事業では各種チケットをあっせんした。

### 5 勤労会館利用状況

働く市民の福祉の増進及び教養文化の向上に向けた活動の場を提供するため、昭和55年7月に開館した。令和2年度の利用実数は次のとおりである。

- ・利用総人数 16,333 人

### 6 技能職団体「親子ものづくり教室」

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止とした。

### 7 情報紙発行

労働問題等についての国、県等の資料をもとに、「勤労ひらつか」を毎月発行し、市内の企業・労働組合等を中心に配布し、情報提供に努めた。

## 8 労働講座の開催

勤労者の知識と教養を深めるため、神奈川県かながわ労働センター湘南支所との共催で、令和2年度の労働講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

## 第7章 公営事業

事業課

### 第1節 競輪事業

本市の競輪事業は、昭和25年開設以来本市財政に大きく貢献してきた。近年は入場者数や車券発売収入ともに減少傾向にあり大変厳しい事業環境にある。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、本場開催では、記念競輪を含む2節が開催中止、5節が無観客開催となった。しかしながら、令和2年度はKEIRINグランプリ2020の開催により、車券発売収入は令和元年度に比べ増加した。

なお、一般会計繰出金も、令和元年度に比べ1億円増の3億円となった。

#### 1 事業実績

平塚市営分

(単位 円)

区分	開催回数	開催日数	入場者数	車券発売収入	一般会計繰出金
元年度	13	52	111,777	15,559,796,700	200,000,000
2年度	10	42	43,447	21,294,172,500	300,000,000
前年度比	▲3	▲10	▲68,330	5,734,375,800	100,000,000

※車券発売収入には、設置した臨時場外分を含む。

一般会計繰出金とその用途

(単位 千円)

区分	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
元年度	14,408				
2年度	2,630				

区分	土木費	消防費	教育費	他会計への繰出金	合計
元年度	30,568		155,024		200,000
2年度		64,267	233,103		300,000

#### 2 施設

- (1) 競輪場面積 52,130.990 m<sup>2</sup>
- (2) 競走路 周長400mアスファルトマッコネル緩和曲線  
みなし直線54.2m 幅員 ホーム11m バック9.3m コーナー部7.5m  
路面傾斜 最高31度28分37秒 最低3度26分01秒
- (3) 投票券発売・払戻所 10か所 134窓 (うち自動発払機104)
- (4) 特別観覧所 2か所
- (5) 来場者用駐車場 13か所 駐車可能台数 3,197台
- (6) 自転車置場 3か所 906.02 m<sup>2</sup>